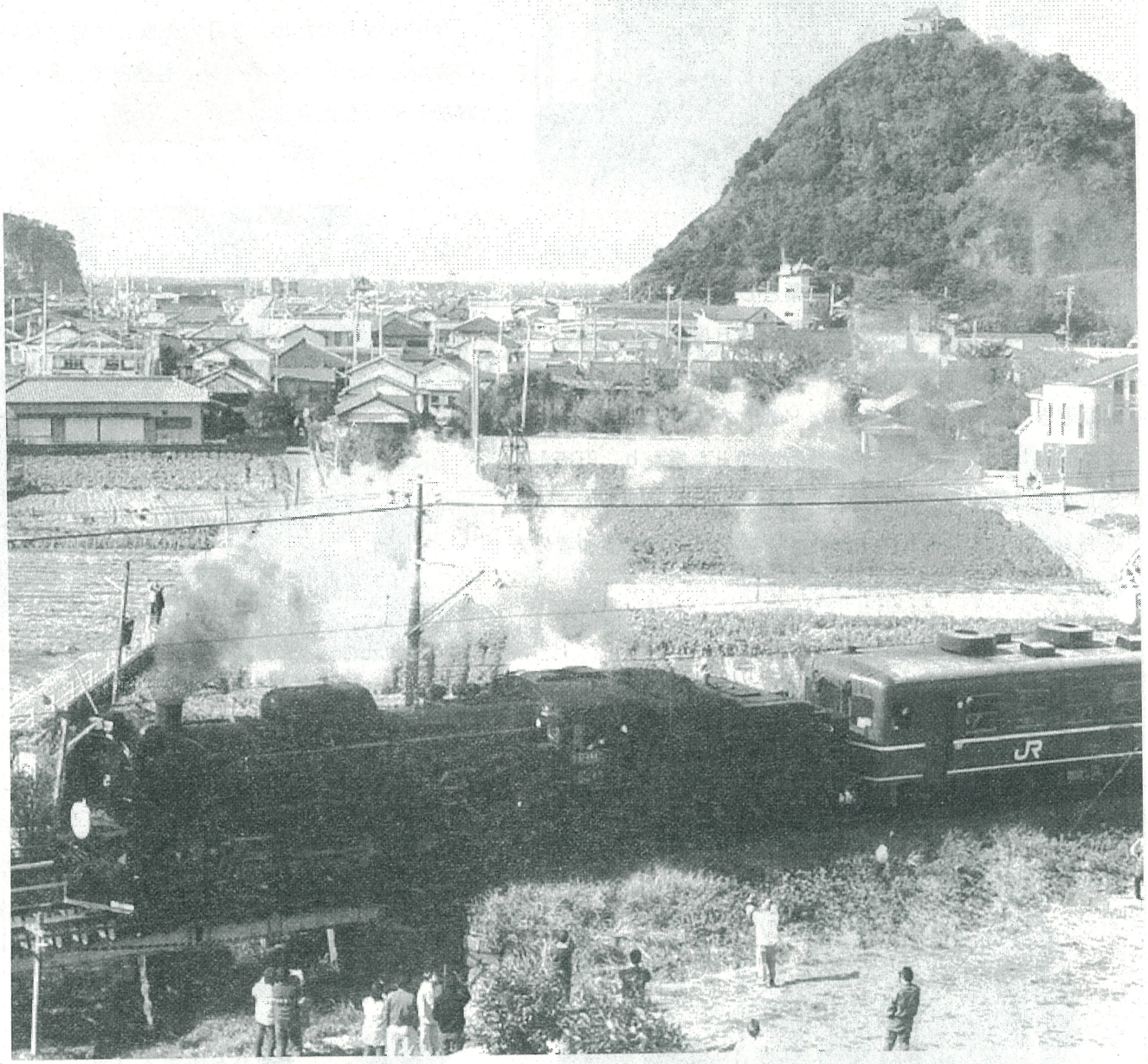
町報
きょなん

発行　鋸南町役場
編集　総務企画課　第４６４号
２９９－２１９２
千葉県安房郡鋸南町下佐久間３４５８
電話　０４７０－５５－２１１１（代）
毎月　１回

3
2007

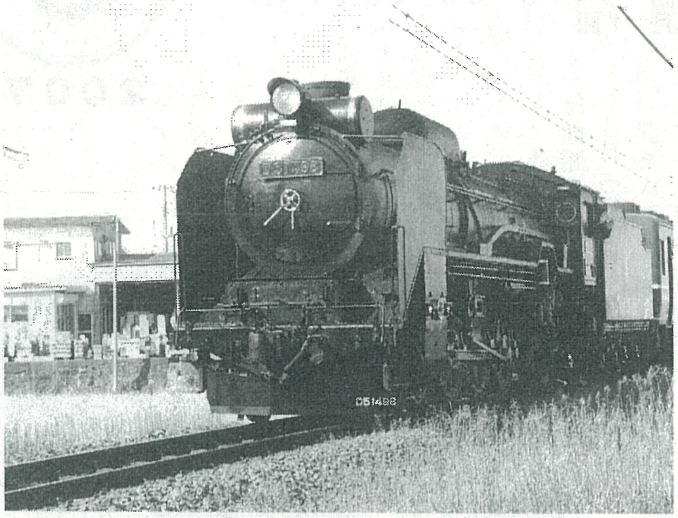


ちばデスティネーションキャンペーンスタート

ＪＲグループ６社と県がタイアップして全国から観光客をお迎えする「ちばデスティネーションキャンペーン（ちばＤＣ）」が２月１日にいよいよ開幕しました。２月３、４、１０、１１、１２日には県内では１８年ぶりの走行となる蒸気機関車Ｄ５１が内房線を走り沿線には多くの見物客が押し寄せました。

また、町ではこれに合わせ鋸山ボランティアガイド、味わいハイキングなど様々なイベントを期間中に企画しています。

千葉デスティネーションキャンペーン開幕



２月１日（木）「ちばデスティネーションキャンペーン（ちばＤＣ）」が開幕しました。キャンペーンは４月３０日（月）までですがここでは２月中に実施された「ちばＤＣ」のイベントを紹介します。

今年は暖冬のため、２月の気候とは思えないほどの暖かさのせいか各イベントも盛況で、多くの方に参加していただきました。

２月３日（土）ちばＤＣの一環として鋸山日本寺観光ボランティアガイドが実施されました。当日は好天に恵まれ、多くの参加者が集まりました。ロープウェイで頂上まで登り、地獄覗き、千五百羅漢、大仏など鋸山の各名所を散策する約２時間のコースです。ＳＬの運行時間とも重なり、山頂からＳＬが走る姿も見ることができました。ガイドさんの丁寧な説明もあり、鋸山を１周するハイキングコースに参加者の方たちも満足の様子でした。

この観光ボランティアガイドはＤＣ期間中毎月第１、３土曜日に行われています。



外国人観光客に説明



千五百羅漢を案内

２月４日（日）早春の味わいハイキングが実施されました。今回のコースは保田駅から水仙ロードを通り、中央公民館を目指す６時間のロングコースでした。この日は天気も良く、水仙もちょうど満開だったため、水仙を見ながらのロングハイキングは参加者の方たちの足取りも軽かったようです。



満開の水仙ロード

この他、３月、４月にもお花見ハイキング、桜まつりなど「ちばＤＣ」関係のイベントを企画しています。町民の皆さんもぜひ参加してみてはいかがですか。

産地直伝！「おいしい菜花の食べ方」を紹介

２月２４日（土）フジテレビ「ベリーベリーサタデー」旬のおいしい食材を紹介するコーナーで、鋸南町の菜花が紹介されました。

レポーターはお笑い芸人の三瓶さん、今回は菜花の時期到来！おいしい菜の花の食べ方を教えてもらおう！という企画で、まず菜花の収穫を体験しました。その後、地元の主婦のみなさんに作っていただいた菜花のお惣菜を試食。どの料理も大変おいしかったと大満足の三瓶さん。



菜花の収穫を体験



三瓶さん「おいしいで～す」

菜花にはイソチオシアネートが含まれていて、血液をサラサラにしてくれる効果があります。また、食物繊維も多く、美肌効果もあります。今回テレビで紹介した菜花のレシピはホームページでも紹介しています。健康によい日本一の鋸南の菜花を是非食卓に取り入れてみませんか。

「第１１回水仙絵画コンクール」入賞者決まる

２月１５日（木）、鋸南町中央公民館において「第１１回水仙絵画コンクール」の審査会が行われました。

当コンクールは、地元の小中学生を対象に、日本三大の水仙群生地として知られる当町の自然のすばらしさを知っていただき、併せて次代を担う子どもたちへ郷土愛の涵養並びに作画活動を推進し文化の向上を図る目的で、水仙まつりの一環として観光協会が主催となり募集しているもので、今回で１１回目を数えます。

『水仙』がテーマで作画方法は問わない当コンクール。

審査会では、一次審査を通過した６０点（小学校低学年２０点・高学年２７点・中学校１３点）の個性あふれる作品が揃うなか、入賞作品３１点を選考するのに審査が難航しました。

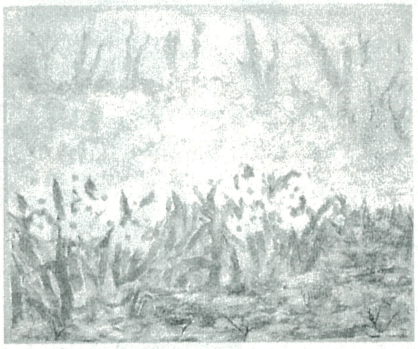


審査員特別賞　角田潤也くんの作品

その結果、保田小学校６年　角田潤也（つのだ　じゅんや）くんの作品（水彩）が審査員特別賞に選ばれ、観光協会が作成している来年の年賀状イラストとして採用されることになりました。

また、大賞には保田小学校３年　吉本知正（よしもと　ともまさ）くん、保田小学校５年　角田慶太（つのだ　けいた）くん、鋸南中学校２年　宇津木亜衣（うつぎ　あい）さんの作品が選ばれました。

表彰式は、３月３日、中央公民館にて行われ、入賞作品は、３月３日から３月１４日まで、中央公民館１階ロビーにて展示されます。



宇津木亜衣さんの作品



角田慶太くんの作品



吉本知正くんの作品

介護新聞　「福寿草」

認知症予防講演会

１月１８日（木）に中央公民館で開催されました。２８０名（町外も含む）の方が参加され大盛況でした。

１．老人クラブ「田町福寿会」による歌と手拍子、竹太鼓の演奏
　富士の山（歌と手拍子）
　ふるさと、炭鉱節、村まつり（竹太鼓）

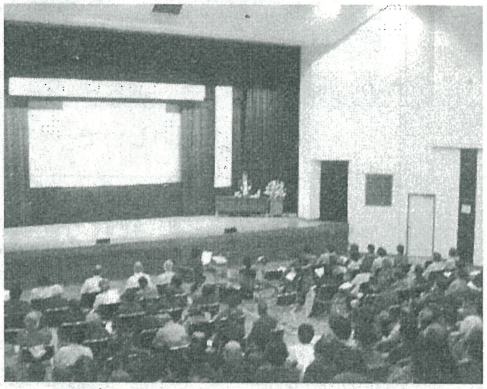
２．講演会
「ボケない（認知症にならない）老後にするために」
　講師：高齢者リフレッシュセンター・スリーＡ
　　所長　　増田　末知子　先生



「田町福寿会」による演奏

認知症を予防するには…

（１）明るく楽しく過ごす→会話を多くする。趣味・家事・畑などを続けましょう。
（２）頭と身体を使う→日記を書く。散歩をする。新聞の朗読を行う。
　　トランプ･五目並べ・パズルなどのゲームを行う。
（３）認知症予防教室（頭の体操教室）に参加する→**物忘れを年のせいだと放っておかない**で予防教室に参加する。



増田　末知子先生による講演

もしも家族や知人が認知症になった時…

※馬鹿にしない（ボケていると常に言わないこと）
（１）優しく接する（ガミガミ怒らない。認めてほめて楽しく過ごす）
（２）寂しくさせない（声をかける。独りぼっちにしない。仲間に入れる）
（３）一緒に行動する（身の回りのことや、家事・遊びを一緒に行う）

町の介護予防事業に参加している方々の川柳をご紹介します!

指使い　考えさせて　呆け防止
楽しんで　笑って過ごし　呆け予防
折込みの　チラシ手にして　旅気分

地域包括支援センターからのお知らせ

「できるだけ介護状態にならない」「悪化しない」を目標に、**介護予防**に取り組んでおります。お気軽にご相談下さい。

わかめ養殖体験学習

２月８日（木）に鋸南中学校第１学年８６名で、職業体験の１つとして、「わかめ養殖体験学習」を実施しました。社会教育委員（渡　純一氏）の協力のもと、漁業関係者ほか多くの方々の協力を得て、実施しました。生徒たちは２艘の船に分乗し、養殖わかめ場に行き、養殖わかめを刈り取り、帰港後、刈り取ったわかめを塩わかめにする作業を体験し、わかめのメカブのたたきやサラダ、みそ汁作りを行い、試食するという体験も行いました。

また、体験終了後には渡社会教育委員から「海の環境問題」をテーマに講演をいただき、今後の環境問題を考えるよい機会をいただきました。

この一日の体験を通して、地域の産業を知るとともに、生徒に望ましい勤労観・職業観を育てる貴重な機会を得ることができました。



わかめの刈り取り体験

つなげよう声のネットワーク

声のバトンタッチ（60）

町民のみなさんの「声」をバトンタッチでつないで、友だちから友だちへ「声」のネットワークを広げていくコーナーです。
お尋ねする内容は、 ①仕事や趣味 ②最近心に感じた事やうれしかったこと ③町政に望むことなどです。 次はあなたもネットワークの一員です。

①大学を卒業後、帰郷して実家の会社を手伝っています。皆さん良い方ばかりで、毎日楽しく仕事をさせていただいています。社会人になってあっという間に４年が経ちました。学生の頃に比べると一週間がとても早く過ぎ、充実していると感じます。
②昨年の１０月に沖縄で結婚式を挙げました。おめでたい事が続きまして、子供にも恵まれました。今年の夏には、小さな家族が１人増えます。最近では本屋に行くたび自分が幼い頃に母や祖母に読んでもらっていた絵本を探して集めています。久しぶりに手にした絵本は、懐かしくてとても優しい気持ちにさせてくれます。少しずつ大きくなっていくお腹をなでながら、不安もありますが、両親をお手本に温かく穏やかな家庭を築いていきたいと思います。
③鋸南中から勝山駅に向かう途中のカーブを、大型車が早いスピードで走ってきます。乗用車でも、お年寄りや自転車の学生とすれ違う時は気を使うような狭い急カーブです。カーブの手前で注意を促す看板を設置したり、いつも利用する大型運転手の方々にもっと呼びかけるなどして、少しでも危険を減らし歩行者の安全を守って欲しいと思います。



秋葉　かおりさん（竜島区・会社員）

次回は後藤　藤江さん（元名区）へバトンタッチされます。



飯塚　一さん（元名区・会社員）

次回は篠原　亮さん（元名区）へバトンタッチされます。

①私は平成７年、結婚を機に鋸南町民となりました。現在、新日鐵君津のグループ会社に勤務して、４年が経ちました。３交代制の仕事で安全と品質に厳しい会社ですが、明るい雰囲気で活気のある職場です。
②先日、幼なじみが結婚した事が、自分の事のようにうれしかったです。しかし、花嫁は驚くことに、彼よりも１７歳年下の若く、カワイイ人だったのには「この野郎ォー」と思いました。また、ちょっぴりどころか大分うらやましかったですね。
③未婚、晩婚化に伴い、少子化が進んでいます。男女の出会う機会が少ないとよく耳にします。男女の出会いの場を、何か良いイベントや企画を作っていただけたらと思います。

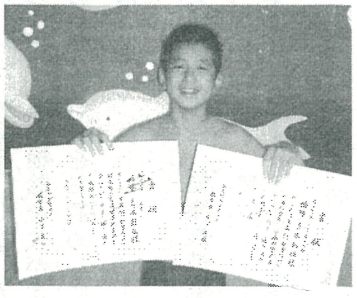
全国ジュニアオリンピック春季大会に出場決定!!

Ｂ＆Ｇ海洋センターで練習する選手が全国大会の切符を手にしました。出場資格を得たのは、保田小６年の三瓶雄司君と鴨川小５年の青木彰伍君の２名。日本水泳連盟主催の同大会は、ジュニア選手の中では最高峰の大会と位置づけられ、将来のオリンピック選手の登竜門といえる大会です。

海洋センターからは初出場となり、同じプールで練習する子供達に大きな夢を与えてくれます。大会は３月２７日から東京辰巳国際水泳場。日本一をかけて挑戦します。



三瓶雄司君（保田小６年）



青木彰伍君（鴨川小５年）

家庭教育通信 すくすく No.68

『ありがとう』の言葉について

家庭教育学級で講師をお願いした中川淑子先生のお話に、「ありがとう」「大好きだよ」「助かったよ」など、相手を思う言葉をたくさん言うと子どもが安心して過ごせて、心が安定します。たくさん言い合える家庭作りをしましょうとありました。そこで今回は、『ありがとう』の言葉についてお話ししたいと思います。

○『ありがとう』は、相手を感謝するとても優しい言葉です。

相手を思って何かしてあげた時、『ありがとう』と言われると気分がとてもよいものです。お礼を言われたいと思って何かしてあげた訳でなくても、感謝の言葉を言ってもらうと誰もが嬉しくなります。一方で、言われた側が嬉しいと思うだけでなく、言った側の気持ちも良くする作用があります。人は、優しい言葉を発すると、気持ちが和らぐ性質があるからです。

○家族や友だちに『ありがとう』を言ってみましょう。

今更「そんなこと言わなくてもわかっているはず」と思っていませんか。どんなに仲がよくても感謝の言葉は、言うに越したことはないと思います。でも、私たちはそんな嬉しい言葉を使いこなせてないのかもしれません。肝心なときに、『ありがとう』と言い漏らさない為にも、日頃から『ありがとう』という言葉を多用して身につけるようにしてみましょう。

○『ありがとう』を意識して言ってみましょう。

「助けてもらった」「席を譲ってくれた」「手伝ってくれた」など、何かをしてもらった時、『ありがとう』を言うチャンスはいくらでもあります。日頃の生活で『ありがとう』と言う場面を見つけて実際に口にだして言いましょう。また、この時、「すみません」と言っていたら、『ありがとう』に替えてみて言ってみましょう。

○今まで言えてない『ありがとう』を探して言いましょう。

「子どもの世話をしてくれてありがとう」「いつも助けてもらってありがとう」と、両親に言ったことはありますか。

夫婦では、「いつも本当にありがとう」「頑張ってくれてありがとう」と言い合ってみましょう。今まで言えていない『ありがとう』を言うときは、照れくさかったり、今更という気持ちで言えない人もいたりと思いますが、ぜひ言ってみましょう。

○大人からも、子どもに『ありがとう』と言いましょう。

大人は、子どもに対して何かしてあげた時、「ありがとうって言うんだよ」と、よく求めます。しかし、大人から子どもに『ありがとう』と言うことは、案外少ないのではないでしょうか。ちょっとしたことでも認めて、子どもに『ありがとう』の言葉をたくさん言ってあげることが大切と思います。

『ありがとう』をたくさん言うと、自分も言った分嬉しくなります。そして、相手に対する信頼と自分に対する信頼が育ち、それが安心感につながります。

『ありがとう』を、声に出して、家族や友だちに言ってみてはいかがでしょうか。

教育委員会
電話　55—2120

健康通信

「乳がん」

成人女性の乳房（にゅうぼう）は、乳頭を中心に乳腺が放射状に15～20個あります。それぞれの乳腺はさらに小さい小葉（しょうよう）に別れ小葉は乳管（にゅうかん）と呼ばれる管でつながっています。小葉を木の葉とすれば、乳管は枝のようにたとえられます。

乳がんの90％はこの乳管から発生する「乳管がん」です。小葉から発生する乳がんは5～10％あり「小葉がん」と呼ばれます。乳管がん、小葉がんは乳がん組織を顕微鏡で検査すると区別できます。このほかにわずかな割合で特殊な乳がんもあります。

年齢別に見た女性の乳がん罹患率は30歳代から増加し始め、50歳前後にピークを迎え、その後は次第に減少します。女性の乳がんにかかる人数は、乳がんで死亡する人数の3倍以上です。つまり女性の乳がんの生存率が比較的高いことを示しています。年次推移を見てみると、罹患率・死亡率ともに増加しています。

乳がんの症状として、乳がんが5㎜～1㎝くらいになると、自分で注意深く触るとわかるしこりになります。しかし乳房のしこりがすべて乳がんではありません。乳がんが皮膚近くに達すると、えくぼのようなくぼみができたり、皮膚が赤く腫れたりします。炎症性乳がんは乳房表面の皮膚がオレンジの皮のように赤くなり、痛みや熱感を伴う乳がんです。また腋の下や鎖骨の上下のリンパ節が大きくなって、むくみや、腕のしびれなどの症状がでたりします。

乳がん検診は40歳以上の女性が対象で、マンモグラフィーという乳房専用のX腺撮影を行います。この検査で触診では発見できない小さながんが発見されることもあります。また乳腺が女性ホルモンであるエストロゲンの影響を受けていると考えられる40歳代の方は1年おきにマンモグラフィーと超音波検査を交互に実施する方法で検診を行っています。40歳になったら年に1度の検診を欠かさず受診されることをお勧めしています。

（保健福祉課　健康推進室）

歴史資料館

●連載175

菱川師宣の浮世指南

はじめての吉原

浮世絵の祖として知られる菱川師宣が、江戸で名を挙げるもととなったのは、版本の挿絵画家からです。それまで文章ばかりだった本を、挿絵を多く取り入れた絵本という形で売り出しました。その頃江戸で流行していたことや、誰もが知りたい興味深い出来事などを、わかりやすくおもしろく絵で表現したのです。当時の人気プレイスポットだった吉原遊廓や歌舞伎のガイドブック、江戸の町のタウン情報誌、流行の着物のがらを集めたファッション誌、若者に恋のかけ引きを教える恋愛ブックなどなど。江戸っ子たちの興味を引くものばかりです。いわば師宣は、現代日本のちまたに氾濫する情報雑誌、写真週刊誌、漫画雑誌の元祖でもあるのです。

たとえば、「浮世続」の中に書かれた初めて吉原へ行く男性の心得。これを現代文に訳して、ちょっと当時の江戸っ子口調で紹介します。

「この道の初心者ってのは、あちこちの見世先に立ち寄っては、初めてと悟られまいと、わざとひじをいからして口をきく。こりゃぁ醜いね。まぁ一言も口をきかず、爪なんかくわえて、恥ずかしげに、おっかなびっくりのぞきこんでいるよりは、ましだがね。この道の粋な達人てのは、ただ何となく普通に見えて、目立つことはないやね。情けを第一として、心はゆったり、愛しいように振舞えば、相手の遊女も喜んで、ふとしたことで逢ったときも、笑みを返してくれるのさ」



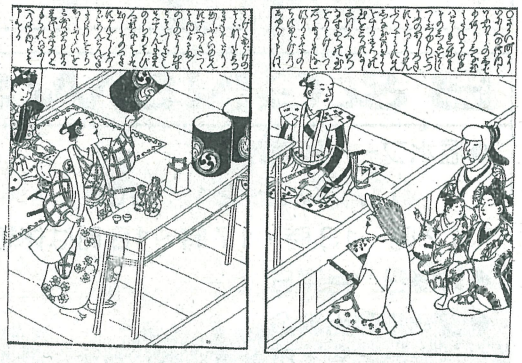
「浮世続」吉原の心得

江戸のマジシャン

一方、芝居小屋が並ぶ堺町には、さまざまな見世物があり評判をとっていました。その中でも当時人気ナンバー1の手品師の話も書かれています。

「堺町にいにしえの伝内という手品師の芝居があって、多くの見物客で賑わってるって話だ。まず品玉の曲芸だが、一つの玉を二つにしたり五つにしたり、しまいにゃ五つの玉をもみ消して全部無くしちまう。続いておどけの術だ。底のない筒を三つ取り出し、その中からいろんなものを取り出すのは、なんとも不思議だ。子供のおもちゃに、ハト、うづら、行灯、しまいにゃ生きた牛を取り出して舞台を三度巡らすってから驚きだ」

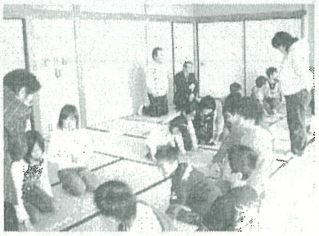
三百年前の江戸時代から、今と変わらないような、こんなマジシャンがいたとは、驚きです。師宣は、こうした江戸の情報を絵本で発信しました。師宣といえば、美人画の掛け軸や絵巻物などを描いていたと思われがちですが、実は、江戸の情報発信の達人であり、浮世の名プロデューサーでもあったのです。



「浮世続」いにしへの伝内

生涯学習 みんなで学ぼう

「親子百人一首教室」



元気なかけ声とともに

公民館では、日本の伝統文化を学ぼうと、保泉孟史氏を講師に招き「親子百人一首教室」を開催しました。

百人一首は鎌倉時代に１００人の歌人の和歌を選んだもので、四季折々の自然や恋の気持ちを読んだ詩が多く、日本人の美意識が表された美しい歌ばかりです。



個人の部優勝
伊藤香さん（鋸南中）

１回目はカルタの覚え方・とり方、２回目からはカルタのはや取り練習、教室の最後には１月２８日（日）に「こども百人一首大会」を行いました。町内小中学校をはじめ、近隣小学生も加わり、「ハーイ」という元気なかけ声とともに、取り払われた「取り札」が舞飛びました。

問合せ先　☎５５－４１５１　中央公民館

わんぱく登場



帆香（ほのか）ちゃん　０歳４か月
〔池田　和博さん　第２子　本郷〕

初めてのひな祭りの記念撮影です。飾ってもらったおひな様は３月に３歳になるおねえちゃんとの仲良しのしるしです。でも、もう少しすると仲良しでてもけんかをすると思います。だけどきょうだいがいなけりゃできないきょうだいげんかです。おうちのみんなで暖かく見守ってください。

桜だより

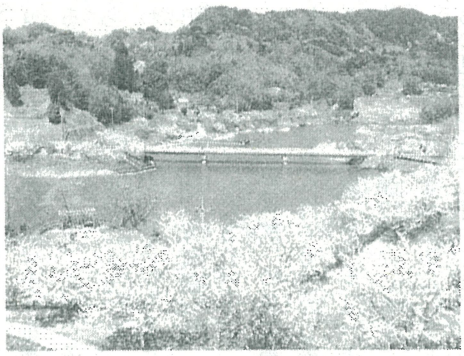
～桜まつり～

町内各地に植栽された頼朝桜も、暖冬のせいなのか例年よりも早い開花でした。この町報が配布される頃には花が落ち、青々とした葉が元気に伸長し始めていると思います。

頼朝桜の次は染井吉野等の日本人に馴染みの深い「桜」が開花を始めます。桜の名所と言えば、１４００本の数種類の桜が咲く「佐久間ダム」が頭に浮かぶ方も多いと思いますが、この佐久間ダムで３月24日（日）から４月８日（日）までの間、「桜まつり」が開催されます。期間中は桜のライトアップやおお花見・お花見ハイキングが実施されます。桜のライトアップは、都市農村交流広場付近の染井吉野で、開花状況を見ながら夜６時から９時までの開催を予定しています。例年多くの人出で賑わう「おお花見」は、商工会が主催して４月１日（日）に実施されます。今年は上佐久間上組青年会の協力による、かつぎ屋台の引き回しも予定されており、青年会では飛び入りでの参加も可能なので多くの方の協力を呼びかけています。また、３月31日（土）と４月４日（水）にはお花見ハイキングも予定されています。佐久間ダム周辺をハイキングし、お花見弁当と夏みかん狩を体験します。

佐久間ダムの桜の開花情報を町ホームページや庁舎入口に掲示の予定ですのでぜひ、ご利用下さい。

春本番、桜本番の時期を迎え町内が桃色に染まります。日本人の心「桜」を楽しみましょう。



昨年の佐久間ダムの様子



役場本庁舎前・原木子孫
平成１９年２月１９日撮影

B&GNEWS

◆温水プール開館時間
１０：００～２１：００
※12時～13時・17時～18時は休憩
◆休館日　月曜日
◆プール利用料金
（町民）小中学生　２００円
一般　４００円
※　幼児は無料

≪脱！メタボリックシンドローム≫

メタボ予防・改善体験教室第２弾を実施します。
前回実施した際には「体が軽くなった」「すっきりした」など好評でした。メタボリックという言葉にドキッとする方、この機会にぜひ運動を始めてみませんか。

☆メタボリックシンドローム予防・改善教室☆
平成１９年３月２１日（水）１９：３０～２０：３０
２５日（日）１０：３０～１１：３０
料金：プール利用料のみ
≪教室等の問合せ先≫　☎５５－４４１１

あの子もこの子もきょなんの子

（１月２５日から２月２４日迄の届出分）
おめでとう！

名前	生年月日	両親の名前	地区	わが子へのメッセージ
☆生貝　七星（ななせ）ちゃん	Ｈ１９．１．２４	浩一・みゆきさん（第１子）	竜島	優しい子に育って下さい。
☆小笠原颯真（そうま）くん	Ｈ１９．１．２８	一真・さくらさん（第１子）	中道台	元気に育って下さい。
☆石井　日翔（にちか）くん	Ｈ１９．２．２	俊也・加織さん（第１子）	中佐久間	やさしい心を持ち元気に明るく育ってくれ。
☆永田　一静（ちせ）ちゃん	Ｈ１９．２．７	悠・明美さん（第２子）	中道台	のびのびと心優しい女の子になってね。

写真さしあげます。

広報に掲載した写真をさしあげます。
一部希望に添えない場合もあります。
◇総務企画課 広報担当
☎５５－４８０１

人の動き・・・・・

世帯数	３，７６１世帯	（－２）
人口	９，８３１人	（－２３）
うち男	４，７２６人	（－１７）
女	５，１０５人	（－６）

２月１日現在（前月比）

編集後記

いよいよちばＤＣが開幕しました。２月は暖かい日が続き、大変過ごしやすい一月でしたね。

３月は桜まつりなどイベントがたくさん企画されています。皆さんも参加されてみてはいかがですか。（Ｔ）